

令和7年5月1日

立教188年

5月号
第632号



発行所

天理教宇仁大教会
〒677-0015 西脇市西脇770-4
電話 0795(22)4066番
FAX 0795(22)4072番
unigrandchurch@yahoo.co.jp

5月9(金)～10(土) 少年会お泊まり会

5月24日(金) 学生層育成者講習会



立教188年 少年会宇仁団総会 (3月29日)

散歩道

四月十九日は、婦人会総会の日であるが、世間では「地図の日」であるらしい。何かの語呂合わせかと思ったが、どうやら伊能忠敬が日本地図を作成するために江戸を出発した日ということである▼当時は測量機材も初歩的なもので、五十五歳の忠敬は一步を六十九センチで歩く訓練を重ね、歩数を記録して距離を測ったというから驚きである。年月をかけて作成した日本全図の精密さはいまさら言うまでもなく、戦前まで公に使われていた。測量技術が発達した現在では、当然ながら若干のずれが判明している。ところが、この月改めて衛星による測量を行ったところ、最新の地図もまた間違いが判明したという。富士山の標高も、あと五センチ高かったとか：▼教祖は『世界の人が真っ直ぐやと思っている事でも、天の定規にあてたら、皆、狂いがありますのやで。』と仰った。どれだけ科学や技術が進歩しても、人間には絶対に正しいという事はないと肝に銘じたい。

一理塚

世界では今も尚、多くの兵士や民間人の命を奪う無意味な戦争が続けられている。日毎に犠牲者が増していく中で、一日も早い停戦を望むが、お互いに自分の主張を通し、停戦に応じることもない。心が痛むばかりである。

戦争を指揮する国の指導者たちはそれなりに頭も良く学もあり、エリートと言われる人達に違いない。しかし、エリートとは、本来、ラテン語で「神に選ばれた者」のことを指す。神に選ばれるというのはキリストに代表されるように、他人のために死ぬ用意ができていてということであり、結局、自分の利害得失と関係なく他人や物事のために尽くせる人、を意味する。したがって、ラテン語でのエリートとは「人」について使う言葉であって、地位とか階級に使う言葉ではないそうだ。

以前、解剖学者養老孟司氏は著書「死の壁」で、エリートについてこう述べている。『たと

えば戦争を決断するときの国家元首がそうでしょう。昭和天皇はその重さを背負われたはずで、す。首相は普段いい所に住んで、いいお金を貰うかもしれないが、最終的には「人殺し」と遺族に言われるかもしれない立場だということなんです。直接自分が手を下さなくても、人を危険なところに行かせるというのはそれと同じことなのです。ここで問題にしているのは、危険なところに行かせることの是非ではなく、誰かがそういう重さを背負わなくてはならないということです。そういう気持ちを背負う立場なのが、かつてのエリートだったのです。』と本当のエリートの消滅を嘆いている。「教祖伝第二章 生い立ち」には教祖が中山家へ嫁がれてからの慈悲深いお話が幾つも書かれているが、次の有名なお話がある。『三十一歳の頃、近所の家で、子供を五人も亡くした上、六人目の男の児も、乳不足で育てかねて居るのを見るに忍びず、親切にも引き取って世話して居られた処、計らずもこの預り子が疱瘡に罹り、一心こめての看病にも

拘らず、十一日目には黒疱瘡となった。医者は、とても救からん。と、匙を投げたが、教祖は「我が世話中に死なせては、折角お世話した甲斐がない。」と思われ、氏神に百日の跣足詣りをし、天に向って、八百万の神々に、「無理な願では御座います、が、預り子の疱瘡難かしい処、お救け下さいませ。その代りに、男子一人を残し、娘二人の命を身代りにさし出し申します。それでも不足で御座いますれば、願満ちたその上は私の命をも差上げ申します。」と、一心こめて祈願された。預り子は日一日と快方に向い、やがて全快した。その後天保元年、次女おやすは四歳で迎取りとなり、翌二年九月二十一日夜、三女おはる、同四年十一月七日、四女おつねと相次いで生れたが、同六年おつねは三歳で迎取りとなった。同八年十二月十五日には、五女こかんが生れた。後日のお話によると、願通り二人の生命を同時に受け取っては気の毒ゆえ、一人迎い取って、更にその魂を生れ出させ、又迎い取って二人分に受け取った、との事であった。』

これらの幾つもの話は何れも、教祖がまだ月日の社となられる前のお話で、教祖のひながたとは言えないが、常に相手の身になって他人を助けるために自分の命をも惜しまない、又、中山家のリーダーとしての立場をつらぬき、誰一人、のけものにすることなく対等に扱われ、命の重みを背負って、最後には誰からも慕われる、まさに親神様から選ばれた本当のエリートであり、命を大切にする生き方のひながたと言えるだろう。私達も前世ではどんな罪深い人生を送ってきたかも知れないことを考えれば、一人一人がそれぞれの立場や年齢には関わらず命の重みを背負って生きていきたいものだ。

四月から「大阪・関西万博」が開催されている。テーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」サブテーマは（いのちを救う）（いのちに力を与える）（いのちをつなぐ）だそう。展示される最先端技術が戦争の道具となることなく文字通り命を助ける目的で生かされることを期待する。

春の学生おぢばがえり 直属アワー

三月二十八日、おぢばで「春の学生おぢばがえり」が行われ、直属アワーには、九名の学生が参加しました。今回で三回目となる天理駅での音楽と募金活動は、今年も石川県能登半島地震の募金活動をしました。三回目となり、参加した学生は、しっかりと募金の呼び掛けが出来、とても良い雰囲気になり、近くで遊んでいた子供達がやって来て、活動と一緒に楽しんでくれました。初めて参加の学生も、募金活動が楽しかったと言ってくれました。今回は、学生の中から、次回はBBQがしたい。と声が上がりました。来年の春学は、学生達の声を汲み取り、BBQを盛り込みたいと計画中です。来年の春学を楽しみに、この一年をしっかりと通らせていただきます。

春学での募金活動の収益金は、五〇〇〇円となり、宇仁団少年会総会での募金は、一〇〇〇円



でした。合わせて六〇〇〇円を災害救援ひのきしん隊基金に寄付しました。

少年会宇仁団総会報告

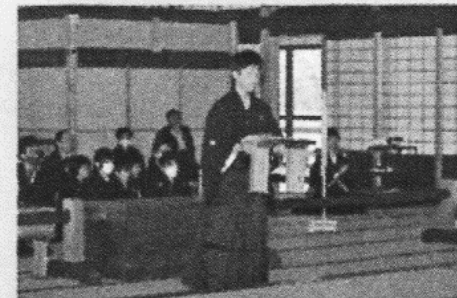
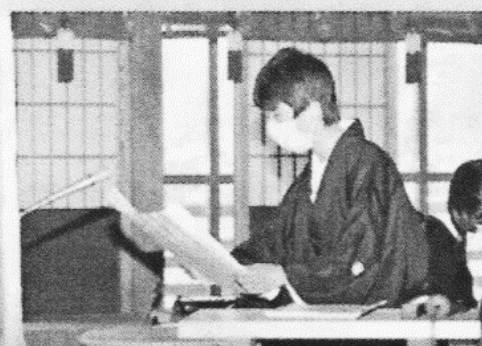
桜ほころぶ三月二十九日(土)、大教会において少年会宇仁団総会が開催されました。

田尻豊祐さんを祭主に前半の六下り目まで元気におつとめをつとめる事ができました。次に少年会長様の御告示を大教会長様に代読して頂き、さらに総会式、記念撮影と続きます。午後からの模擬店では、各教会心づくしの食べ物や手作りゲーム等を楽しみました。再び神殿に上がり「ありがとう夏のおぢば」を全員で歌い、「ムーンライト伝説」の鼓笛演奏には大きな拍手が贈られました。そしてお待ちかねの抽選会。自分の番号が呼ばれた子は悩みながらも好きな景品を選び、最後にお下がりを頂いて帰路につきました。

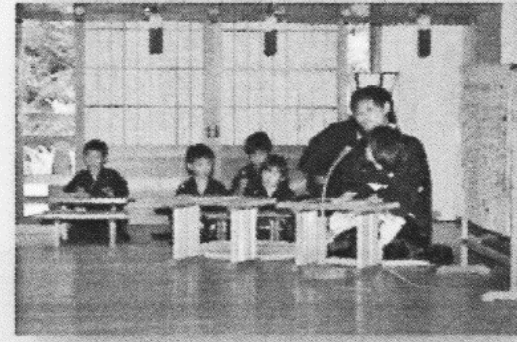
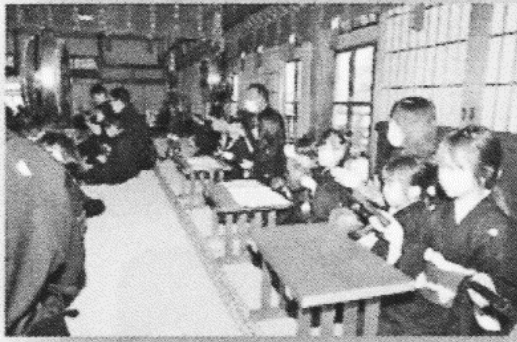
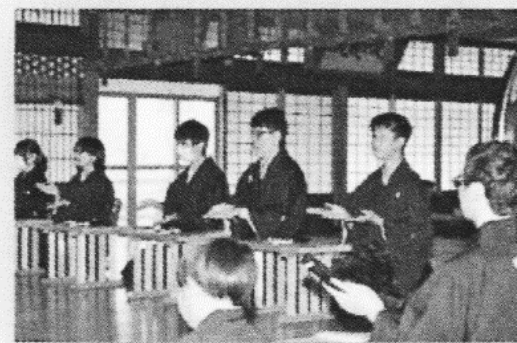
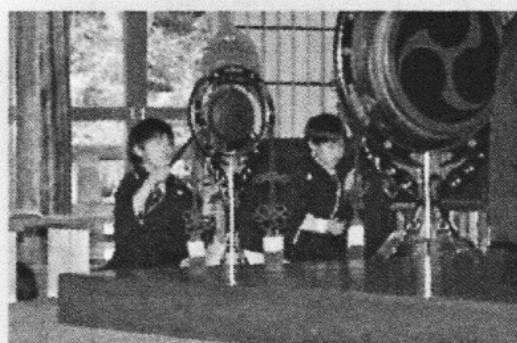
なお当日の参加者数は、少年会員五十四名、育成会員九十名、計百四十四名でした。

ご参加ご協力下さった全ての皆様に、少年会委員一同心よりお礼を申し上げます。ありがとうございました

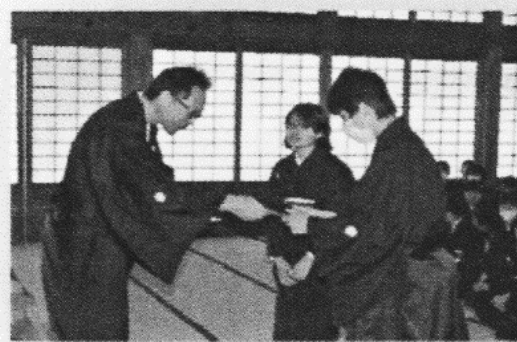
少年会員による祭儀式



すわりづとめ～六下り目



御告辞・団長挨拶・卒業生記念品贈呈



お楽しみ行事（模擬店・鼓笛演奏・大抽選会）



少年会総会のスナップ写真の閲覧・ダウンロードのご案内

下記のQRコードから閲覧・ダウンロードができます。

（閲覧・ダウンロード期限は、五月末日までとなっています）

※なお、スナップ写真の無断転載・無断使用はないようによろしくお願いします。



スナップ写真①



スナップ写真②



スナップ写真③

模擬店の出店ありがとうございました

豊原分教会 (ミニハンバーグ)	水嶋分教会 (ジュース)	鍛冶屋分教会 (お菓子)
道延分教会 (フルーツゼリー)	和道分教会 (フランクフルト)	兵庫中央分教会 (焼きそば)
大西脇分教会 (千本引き駄菓子屋さん)	神福分教会 (カレーライス)	日下分教会 (牛丼)
大物部分教会 (大人の遊び投扇興)	中河合分教会 (ピンポンボール)	高鹿喜分教会 (わた菓子)
西津萬分教会 (たき込みご飯)		曾我井分教会 (アイスクャンデー)

少年会宇仁団 & 学生会 第3回 合同お泊まり会のお知らせ

- ◆ 対 象
小学校1年生以上の宇仁大教会信者子弟（就学前のお子さんは保護者同伴で○）
- ◆ 日 時
5月9日（金）～10日（土）
- ◆ 主なプログラム
1日目…リズムゲームでおつとめ練習、テント設営、テントの中でゲームを楽しもう
2日目…へそ公園テラドーム、プラネタリウムを見に行こう、「宇宙っ子ランド」
(ジャンボすべり台、ふわふわドーム)、広場でお弁当を食べよう
- ◆ 募集締め切り
5月6日（火）
- ◆ お問い合わせ・お申し込み
少年会団長 原田信一（携帯：090-3616-3271）まで

合同お泊まり会の詳細は、
右記のQRコードから
ご確認ください。



みちのだい育み塾よりお知らせ

婦人会宇仁支部 みちのだい育み塾

『教祖を身近に感じて』

講師：^{これのり}是則ちなみ先生

(中津大教会 小倉分教会会長夫人)

日時：令和7年5月25日(日)

10:00~12:00(受付9:45~)

場所：宇仁大教会 1、2、3号室

参加お供：300円

申し込み：各教会を通じて、みちのだい育み塾
担当者まで(代表 豊原・高田井)

しめきり：5月20日(火)

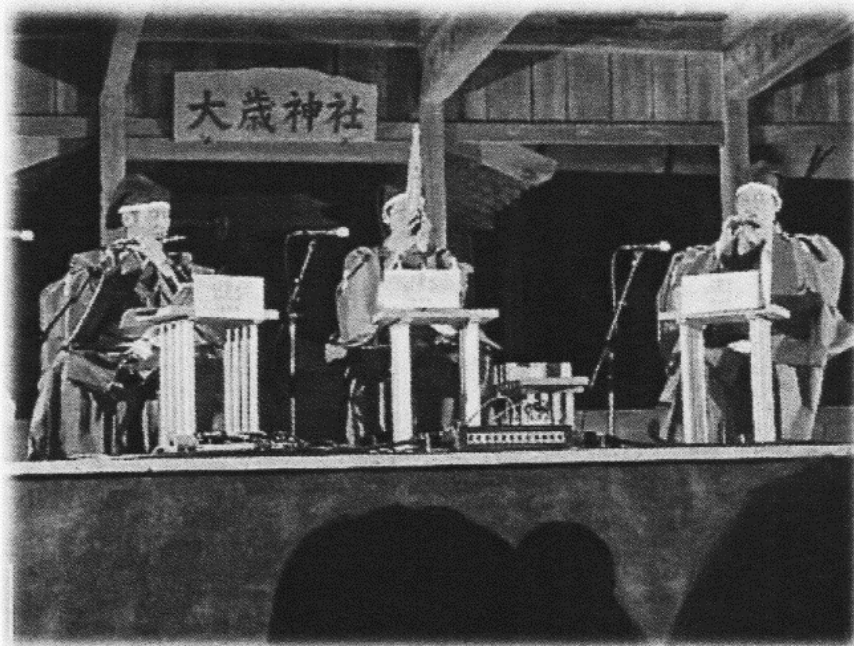
詳細は右の
QRコードから



雅頌会「篝火ライブ」

箸三門分教会後継者 今中隆之さんからの紹介で去る四月五日、多可町加美区箸荷地区「篝火ライブ」に雅頌会が出演しました。

田尻壮祐、横山一生、今中英輔が演奏いたしました。



毎月団参(五月)の

ご案内

〈日時〉

五月十一日(日)

十一時半 東礼拝場集合

〈内容〉

本部お願いづとめ参拝

午後 伏せ込みひのきしん

本部回廊掃除

(足腰のご不自由の方

もご参加頂けます)

五月開催の毎月団参につい

てのお問い合わせは

五月担当(志水正広

090-3842-3456)

まで

また、詳細は左記の QR

コードからご確認ください。



おぢば通信

三月のうごき

◎初席者

鍛冶屋 久下 智子

◎おさづけの理拝戴

神 福田 尻 萌

◎三月帰参者

(詰所調べ) 二六九名

五月行事予定表

6日 青年会例会

9日 婦人会例会

9、10日 合同お泊まり会

11日 宇仁大教会毎月団参

15日 布教実働日

19日 少年会例会

24日 大教会月次祭

午前10時30分執行

学生層育成講習会

講師：岩井大輔氏

25日 みちのだい育み塾

26日 本部月次祭

午前9時執行

婦人会より

◇大教会炊事当番

5月 豊原

6月 神福A

7月 直属

よろしく

お願いします